

しずおか女子きらっ☆プロジェクト【静岡県静岡市】

地域の実情と課題

- ・本市は性別役割分担意識が強い傾向があり、結婚・出産・子育てにより退職する女性が多いため、キャリア形成が難しくなっていると考えられる。
- ・非正規雇用で働く女性割合が高く、管理職に占める割合も低い。
- ・企業へのノウハウ提供支援による取組の加速化や、これから取り組もうとする企業を増やすため、経済団体や市経済局と連携するとともに、女性活躍推進に取り組む企業や活躍している女性の様子を「見える化」し、女性活躍の気運を醸成する必要がある。

事業の特徴

- ◎女性活躍に関して、企業と女性の双方に向けた支援を行っている。
- ・協議会「しずおか女子きらっ☆応援会議」の運営
- ・女性活躍の好事例を見える化した「しずおか女子きらっ☆ブランド認定」
- ・企業の垣根を超えて女性社員のロールモデル共有や企業間のネットワーク構築を図る女性活躍異業種交流会「ダイバーシティin静岡」
- ・ロールモデル発見支援のための「女子きらっ☆メンターカフェ」
- ・『女性が活躍できるまち しずおか』をPRする「情報発信事業」
- ・女性等多様な人材の活躍を進める「ダイバーシティ経営推進セミナー」

事業の効果

- ・男女共同参画週間や認定証交付式などでブランド認定商品をPRし、メディアに多数取り上げられたほか、女性活躍の好事例を広く情報発信することができた。
- ・しずおか女子きらっ☆メンターカフェに参加したことで、97.2%の方が「参加前に比べ前向きな気持ちになった」（目標90%）、98.6%の方が「今後も仕事を続けたい、または仕事に就きたいと思った」と回答するなど、女性の就業継続に対するモチベーションをあげることができた。
- ・企業に対し女性活躍推進のノウハウ提供ができ、企業の取組を加速化することができた。

目的・目標

- 【目標 1】25歳～44歳女性の有業率
(H29) 77.3%⇒(R4) 80.0%(就業構造基本調査) (H24) 69.4%⇒(H29) 77.3%【達成】
- 【目標 2】管理的職業従事者に占める女性の割合
(H27) 16.0%⇒(R4) 30.0%(国勢調査) (H22) 12.9%⇒(H27) 16.0%【達成】

連携団体

- ・「しずおか女子きらっ☆応援会議（静岡市女性活躍推進協議会）」を運営し、市内の経済団体と労働組合、商工会議所、学識経験者等と連携することにより、しずおか女子きらっ☆プロジェクト各事業の実施において、応援会議構成団体傘下企業からの積極的な参加・協力を得ることができた。

今後の課題

- ・新型コロナウイルス感染拡大の影響により広がっているテレワーク等の柔軟な働き方をいかに後押しするか、しずおか女子きらっ☆応援会議において検討を行うとともに、事業間連携することにより企業の取組と女性の活躍を応援し、「女性の活躍したい希望がかなうまち しずおか」を目指し取り組んでいく。また、女性が安心して働けるようハラスメント対策など環境整備に注力していく必要がある。

①しずおか女子きらっ☆応援会議(静岡市女性活躍推進協議会)

女性活躍推進に向けた取組について構成団体が相互に情報を共有し、官民が連携することにより、市内の女性の活躍推進を加速化する。

・**応援会議: 1回開催**

②しずおか女子きらっ☆ブランド認定事業

女性が企画・開発した商品のうち特に優れたものを市が認定し、商品PRに協力する。

・**ブランド商品の認定(8件) ・認定証交付式の開催**

③女性活躍異業種交流会「ダイバーシティin静岡」

企業の垣根を越えて女性社員のロールモデルや企業間のネットワーク構築を図る交流会。

・**女性社員の交流会(2回・延べ56人) ・人事管理部門の交流会(書面開催)**

④女子きらっ☆メンターカフェ事業

ロールモデルを共有できるよう、市内で活躍中の女性から直接経験談が聞ける交流会。

・**6回開催(延べ72人)**

⑤しずおか女子きらっ☆プロジェクト情報発信事業

プロジェクトを集中的に広報する月間チラシを作成。

⑥ダイバーシティ経営推進セミナー

企業の各階層それぞれに向けたセミナーを開催し、取組促進に繋げる。

・**経営者セミナー(1回・延べ64人)、管理職セミナー(2回・延べ32人)、従業員セミナー(2回・延べ30人)**



ダイバーシティin静岡



女子きらっ☆プロジェクト強化月間



しずおか女子きらっ☆ブランド認定商品紹介冊子2020



女子きらっ☆メンターカフェ



ダイバーシティ経営推進セミナー